

○ 第1部 市政報告	
(1) 市長からの市政報告	
1. バイオマス産業都市構想 2. 女性と子どもが住みやすいまちづくり 3. 駅周辺にぎわい創造 ・秦野駅周辺のにぎわいのあるまちづくり ・弘法山公園利活用方針に基づく整備 ・震生湖太鼓橋の架け替え ・頭高山の里山林整備、植樹祭 4. はだのスポーツビレッジ構想 5. 電子地域通貨 6. 羽根森林資源活用拠点(仮称) 7. 戸川土地区画整理組合への支援、菩提横野線、矢坪沢水路整備 8. デジタル化の推進 ・マイナンバーカード ・本市の学校教育での「デジタルな学び」 9. プラスチック一括回収について ※詳細は別途資料参照	市長
(2) テーマに基づく市政報告	
【市からの状況説明】	
○災害時の広域避難場所の運営について ・市内23箇所の広域避難場所に防災備蓄倉庫を設置し、避難所運営に係る資機材や避難者の食料品等の物資を備蓄している。 ・備蓄数量は、平成27年に神奈川県が公表した地震被害想定調査で想定されている地震のうち、本市に最も切迫性が高く、特に、被害の発生が懸念される都心南部直下地震の想定避難者数を基に、食料については、本町地区の4箇所の避難所（本町小学校、本町中学校、末広小学校、及びメタックス体育館はだの）で、想定避難者873人分に対し、アルファ化米を3日分備蓄している。 ・飲料水については、非常用飲料水貯水槽や緊急遮断弁付受水槽、各避難所に備蓄しているペットボトルを併せて、本町地区の人口約2万人に対して、一人当たり1日の必要水量3リットルを概ね5日分確保している。 ・災害用トイレの備蓄については、国のガイドラインに基づき、汲み取り式埋設型トイレや組立て式トイレなどの災害用トイレとは別に、携帯トイレ（便袋）も避難所ごとに1,600回分備蓄しており、今後、約12万回分（想定避難者数3日分+帰宅困難者1日分）を順次備蓄していく計画である。 ・大規模災害対策として市民の方が安心して生活できるよう準備を行っているが、やはり公助にも限界があり、災害は、自助・共助・公助の観点からそれぞれの役割を明確にしながら、乗り越えていかなければならないため、家庭や自治会での備えについても、出前講座や各イベント等で周知、啓発に努めている。また、能登半島地震の教訓も踏まえながら、更なる備蓄体制の強化、充実に取り組んでいく。	くらし安心 部長

		【質問・要望・意見等】	
		(意見) ・市役所や県立職業技術校は広域避難場所にならないのか。広域避難場所への向かう道の途中に石垣があり、地震が来たら崩れ、道路を塞いでしまい避難ができないのではないのか。 ・広域避難所を増やすことはできないか。くず葉台の方が国道246号を渡って本町中学校に避難できるのか。	乳牛柳町自治会
		(回答) ・市役所は災害対策本部、県立職業技術校は警察部隊の活動拠点となる予定である。 ・本町中学校までの道については、承知をしているが、道が塞がれてしまった場合は、水無川沿いの道を通っていただきたい。 ・広域避難場所について、避難が難しいことを理由に他の避難所の利用や自治会館を一時避難場所にするなどの相談は随時、受けている。	くらし安心部長
		【市からの状況説明】	
		○河川の整備について ・自治会をはじめとした住民の皆さまには、日頃より市内の河川清掃への御参加及び御協力をいただいている。 ・流木等については、適宜、市から神奈川県に情報提供をしながら、県で処理を進めている。 ・河川に入って草刈りを行う場合は、情報共有という形で事前に河川管理者に連絡をしたうえで行っていただきたい。 ・市としては、平成6年度から毎年、県に対して河川の整備要望をしており、十代橋付近や天王下橋付近のなどの護岸整備工事が実施された。引き続き、危険性がある箇所の護岸整備や流木処理などの維持管理について要望していく。 ・また、河川の安全を守っていくためにお気づきの点は、建設部まで情報提供をお願いしたい。	建設部長
		【質問・要望・意見等】 なし	
		(要望) ・十代橋から天王下橋の間を県の事業で自治会で草刈りをする事で奨励金を出すという制度があり、市の美化清掃に合わせて実施してほしいという要望がある中で、ごみは袋に入れなければならない、ものすごく大変なため、何かいい方法があれば教えてほしい。 ・県からは、ごみを搬入する場合は、駿河サービス工業に直接搬入するようにと言われた。	御門自治会
		(回答) ・どのような対応ができるか確認して、御連絡させていただく。	建設部長

【市からの状況説明】

○曾屋弘法行のバスについて(加茂神社方面までの延長)

- ・バスルートの延伸や変更にはバスが安全に通行できる道路状況なのか、折り返し場所があるか検討する必要がある。
- ・バス事業者と現地を確認した中では、安全に通行ができないこと、折り返し場所が確保できないことから変更はできないとのことであった。
- ・全国的にバスの運転手が不足しており、大きな問題となっているが、市内を運行する神奈川中央交通の運転手も不足している状況で、毎年、減便などのダイヤ改正が行われており、運転手の効率的な配置や労働時間の調整に苦慮していると同っている。
- ・高齢化による交通弱者の移動手段の確保は、本町地区に限らず、全市的な課題となっている。既存の公共交通に加え、一部地域で行われているボランティアによる移動支援や福祉有償運送など様々な手法により、持続可能な交通手段の確保に努めていく。



都市部長

【質問・要望・意見等】

(要望)

- ・以前、桜まつりがあったときにはバスを運行していたという経緯がある。弘法山公園第2駐車場で折り返していた。
- ・加茂神社に向かう途中にはS字カーブがあるが、地権者の方は整備していただければ、協力したいという話も聞いたのでもう少し検討していただきたい。

山谷自治会

(回答)

- ・現在、神奈川中央交通では、運転手が定員の7割程度で運行をしている状況で、減便等の対応により、維持している路線がかなりあるような状況である。
- ・市内各所で御要望をいただいております、出来ること、出来ないことを精査していきたい。

都市部長

○ 第2部 質疑応答	
(意見) ・「はだの丹沢ライフ応援事業」という補助金があり、20万円から60万円の範囲で補助金が交付されるが、交付にあたっては、自治会に加入する意思があることが条件となっていると聞いた。 ・自治会内に対象の方がおり、市から加入状況の調査があった。自治会に加入したことを確認してから補助金を出すべきではないか。	乳牛柳町自治会
(回答) ・補助金の交付にあたり、自治会加入については、交付後に確認を行っているが、自治会長様に負担をかけていることや加入していないといった現状もあることから、今後の取り扱いを検討していきたい。	都市部長
(要望) ・本町小学校前と市役所前の水無川側のバス停について、幅が狭く、金属のポールは1本だけで、ゴムのポールが3本あり、子どもが曲げて遊んでいる。 ・子どもの登下校の安全のためにガードレールの設置ができないか。難しいようであれば、ゴム製のポールを鉄製に変えることはできないか。	富士見町自治会
(回答) ・道路幅により、ガードレールの設置は難しいというのが現状である。 ・鉄製のポールの設置については、交通管理者である警察と道路管理者である市と協議をしたところ、警察は設置できないとの見解であったが、安全性を高めるため、市から強く要望した結果、1本ではあるが設置に至った経緯があり、現状としての対策に御理解をいただきたい。 ・御意見は警察に伝えていきたい。	建設部長

(要望) ・しもおちあい公園に時計とトイレを設置してほしい。 ・時計については、小学生の登校班の集合場所になっているので、時間の確認ができる。 ・公園ができてから40年が経ち、樹木の背が高くなっている。何本かは整備していただいているが、全体的に整備をしていただきたい。 ・葛葉川について、川底に雑草が繁茂し、竹が生えてしまっているなので、整備してほしい。	下落合自治会
(回答) ・時計やトイレの設置については、他の公園との使われ方の違いなども確認したうえで、担当課の公園課から後日回答をさせていただきたい。 ・トイレについては、地域にある公園の利用者は一般的には自宅から半径500メートルぐらいというような考えのもと、自宅のトイレを利用していただくということが前提になっている。 ・樹木の整備については、現地を確認し対応を検討したい。 ・川の雑草の繁茂等について、御意見を県に伝えていく。	建設部長